

事業番号	09 04 31	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州こだわり食肉生産推進事業			担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・局・室	園芸畜産課		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産		E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出		実施期間	H19 ~		
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 ウ 農業の競争力強化					

1 事業の概要

目指す姿	○優良純粋豚の系統維持、「信州黄金シャモ」の供給・利用体制を構築し、こだわりのある食肉を利用してブランド化を進める。 ○いきいき子牛の哺育育成マニュアルの浸透により、家畜市場の活性化を図り、和牛産地としての地位の向上を目指す。					
現状 (予算編成時)	○消費者の国産志向や加工流通業者からの特徴ある畜産物の生産要請が強まってきている。 ○種畜等の供給に当っては計画的な系統維持や一代交雑種を生産するための信州の特徴ある種畜確保が求められている。 ○和牛子牛については、和牛いきいき子牛育成マニュアルの実践等により、特に去勢牛で発育の改善が認められる。					
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 種畜の系統造成や県が商標登録を持つ食鳥は、県が実施しないと供給ができず、長期的に安定して供給する必要がある ・消費・安全対策交付金交付要領 ・農畜産業振興事業補助金交付要領				
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28) ○海外産の純系種豚5品種の系統維持を図る (目標設定: 県内養豚の生産振興上、これまで維持してきた5系統) ○信州黄金シャモの供給用の素ヒナ・種卵を50,000羽確保する (目標設定: 過去約40,000羽までの実績があり50,000羽とした) ○和牛いきいき子牛マニュアルの重点普及指導 10戸 (目標設定: 継続指導農家が10戸となるため)					
	② 事業内容 (単位: 千円)					
	項目	実施方法	H28事業実績	H28 (当初)	H28 (決算)	H29 (当初)
	こだわり牛肉づくりのための基盤育成と強化	直接	和牛の能力向上のため、育種価を高める改良を推進するとともに、子牛の育成技術の普及を図った。			
	こだわりのある豚品種の生産体制の整備	直接	特色ある豚肉生産のため、海外産純系種豚5品種についての系統維持を実施した。	10,685	10,129	10,465
	信州黄金シャモの生産体制の整備	直接	信州黄金シャモの生産振興のため、種鶏の維持と種卵および素雛の供給を実施した。			
	合計			10,685	10,129	10,465

事業コスト	区分 (単位: 千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28		H29 目標	
		当初予算	10,644	10,685	10,465				目標	成果		達成状況
		補正予算				豚の品種維持	6品種	5品種	5品種	5品種	達成	-
		合計 (A)	10,644	10,685	10,465	黄金シャモの供給用ヒナ確保	16,973羽	18,250羽	50,000羽	20,608羽	未達成	-
	Aの財源	一般財源	1,436	1,315	1,315	子牛育成マニュアル重点普及指導	12戸	6戸	10戸	10戸	達成	-
		県債				信州プレミアム牛肉の認定頭数	-	3,242頭	-	3,477頭	-	3,700頭
		国庫支出金	1,152	1,091	1,091							
		その他	8,056	8,279	8,059							
	決算額 (B)	10,556	10,129									
概算人件費	職員数 (人)	1.92	1.92	1.92								
	概算人件費 (C)	15,890	15,195	15,195								
概算事業費 (B(A)+C)	26,446	25,324	25,660									

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> 豚の品種維持については、飼養管理が適切に行われ、5品種を維持することができた。 信州黄金シャモのヒナについては、病原菌は検出されなくなり回復基調にあるものの、26年度後半以降、出荷先の顧客等を失った影響が大きく響き生産量が抑えられ未達成となった。 いきいき子牛育成マニュアルについては、継続的に指導してきた農家等10戸に対し、普及指導ができた。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 <ul style="list-style-type: none"> 豚の品種維持については、5品種について引き続き系統維持を図る。 信州黄金シャモの衛生管理を徹底してヒナを安定的に供給するため、ヒナの飼養施設の改築を今年度中に行い、安定的な生産供給体制を整備する。 子牛の発育改善が、いきいき子牛育成マニュアルの実践等により改善が認められ、次年度以降の指導対象農家は0戸となる。
--------------------	--